

老人の専門医療を考える会 第35回全国シンポジウム
～どうする老人医療これからの老人病院（Part35）～

医療と介護の「絆」を考えるⅣ ～胃ろうの現状と課題～

アメリカから導入された胃ろうは、なんらかの理由で食事の経口摂取ができなくなった患者にとって、経鼻経管栄養や点滴に比較し管理しやすい方法として普及している。また、胃ろうによる水分や栄養補給は、医学的にすぐれた方法であり、生命予後の改善に資するものであることに異論はない。そして、医療制度上、急性期病院の在院日数短縮のために、予後の検討のないままに胃ろうを造設して、次の医療機関や在宅へ移行しなければならないことも事実である。しかし、高齢者あるいは認知症の患者では、胃ろうの有効性や安全性に疑問が投げかけられ、ことに終末期においては、かえって患者のQOLを阻害するのではないかという危惧も指摘されていることから、胃ろう造設の適応や有効性について見直す時期にきているようだ。

今回、「老人の専門医療を考える会」では、高齢者にとって胃ろうはどうあるべきかという視点で、さまざまな現場で医療と介護に取り組んでおられる4名のシンポジストからご意見をいただきます。みなさんと共に考えようではありませんか。

老人の専門医療を考える会
会長 齊藤正身

開催概要

-
- ◆日時 平成23年5月14日（土）13：30～16：30
 - ◆場所 東京研修センター
 - ◆参加費 無料
-

プログラム

- 13：30 開会挨拶
齊藤正身（老人の専門医療を考える会 会長）
- 13：40 プレゼンテーション（1）
山下晋矢（永生病院 医療技術部長）
- 14：00 プレゼンテーション（2）
中島朋子（東久留米白十字訪問看護ステーション 所長）
- 14：20 プレゼンテーション（3）
石飛幸三（世田谷区立特別養護老人ホーム芦花ホーム 医師）
- 14：40 プレゼンテーション（4）
池田誠一（NHK 報道局社会部 記者）
- 15：00 休憩
- 15：15 シンポジウム
座長 桑名斉（信愛病院 院長・老人の専門医療を考える会 副会長）
シンポジスト シンポジスト（プレゼンテーション講師4名）
- 16：30 閉会挨拶
藤井功（老人の専門医療を考える会 副会長）

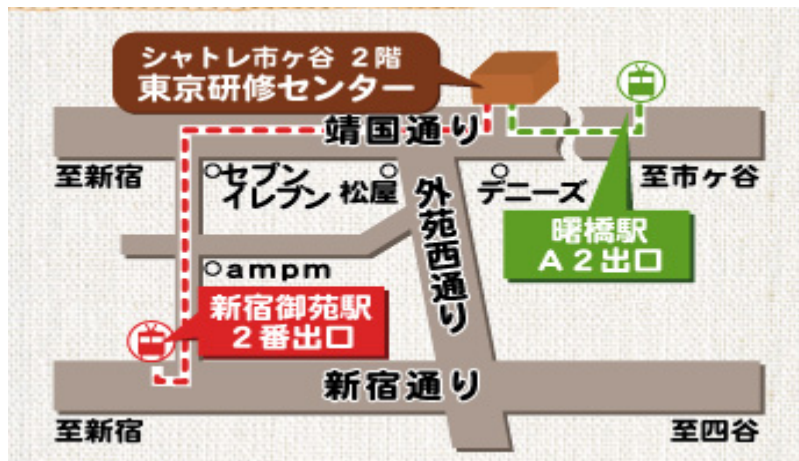
総合司会：大川博樹（老人の専門医療を考える会 事務局長）

主 催 老人の専門医療を考える会

〒162-0067 東京都新宿区富久町 11-5 シャトレ市ヶ谷 2階

TEL : 03-3355-3020 FAX : 03-3355-3633

E-mail info@ro-sen.jp ホームページ <http://ro-sen.jp/>



シンポジウム会場

東京研修センター

TEL.03-3355-5677

電車でお越しの場合

●地下鉄

丸ノ内線「新宿御苑前駅」2番出口 徒歩8分

都営新宿線「曙橋駅」A2出口 徒歩8分

(お車での来場はご遠慮下さい)

申込方法：下記に、代表者お名前、ご連絡先、参加人数等をお書きの上、FAXでお申し込み下さい。

またはE-mailでのお申し込みも可能です。(info@ro-sen.jp)

お申し込み後は、当日直接会場受付までお越し下さい。

第35回全国シンポジウム5月14日(土) FAX申込書

➤ **FAX送信先：03-3355-3633** (老人の専門医療を考える会)

参加人数：合計 () 名

複数参加の場合お名前を下記へ
ご記入下さい。

代表者以外のご参加者名：

(ふりがな)
代表者お名前： _____

代表者ご所属： _____

代表者ご住所： _____

(〒 -) _____

お電話番号： _____